



伊豆中央ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第 2664 回例会

2022-23

RI 会長 ジェニファー・ジョーンズ ガバナー 浅原諒蔵
 会長 水谷隆一 幹事 小野 憲
 会報委員会 川合礼恵 古藤田博登 木内昭夫 武田友良

2022.8.30 (火) 於 サンパレー富士見

例会場 ホテルサンパレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1
 TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564
 事務局 TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352

URL www.izuchuo-rc.org

写真： 柿田川 (伊豆半島ジオパーク)

会長挨拶

会長 水谷隆一君



みなさんこんばんは、

8月9日例会を新型コロナウイルス感染者急増に伴い急遽休会とさせていただきます、本日月末間際の例会が今月初めての例会となりました。今夜は、ガバナー公式訪問です。浅原諒蔵ガバナーようこそお越しくださいました。また遠藤正幸 G 補佐・稲葉雅之伊東西 RC 会長兼地区副幹事・坂上 康 地区副幹事・三田明宏 G 補佐事務局にも同行いただき、ありがとうございます。

先程まで1階青山を会場に 17:30 定刻前より会長幹事会でした。浅原ガバナーよりクラブ運営等示唆に富んだご指導いただきました。

後程卓話の時間には浅原ガバナーより直接皆様にお話しをいただきますのでご期待ください。

さて、今回のガバナー公式訪問の会長挨拶は PETS や地区協の内容を踏まえての内容にするようにとの御達しがきていますが、今夜は病気療養でしばらく例会を休まれていた小野信さんについてお話させていただきます。前回例会の休会が決まったあと、小野さんから次回から例会に出席するよとお電話をいただきました。例会再開がコロナの状況によるので、改めて再開の時は連絡しますとお答えしたところ、必ず連絡欲しいと念を押されました。現在も病気療養中の小野さんですが、出られる限りロータリーの例会には出続けたいとの覚悟が、電話からヒシヒシと伝わってきました。小野さんの電話を受けてから、自分が小野さんの立場であったら、小野さんと同じように例会に出席できるだろうか、それともロータリーは退会すること選ぶだろうか？自問自答する中、改めて、ロータリークラブは、他の組織や団体とは一線を画す、ある意味、人生の心の拠り所と思える存在であると気が付きました。信さん、無理のない範囲で、是非これからも例会に参加し続けてください。

今夜は、前回休会分、慶事など諸事諸々ありますので、いつも以上に短めの会長挨拶と致します。ありがとうございました。

ゲスト

浅原諒蔵ガバナー (静岡 RC) 遠藤正幸ガバナー補佐 (三島西 RC)
 坂上 康地区副幹事(静岡 RC) 稲葉雅之地区副幹事 (伊東西 RC) 三田明宏ガバナー補佐事務局 (三島西 RC)

出席報告

	出席総数	出席率	会員総数
今回	24/28名	85.71%	28名

今回の欠席者

柿沼君 小林(則)君 土田君 土屋(雄)君

会員慶事

会員誕生日 小野憲君 堀江伴英君

入会記念日 柴田三敏君

奥様誕生日 土屋龍太郎君 堀江伴英君





今年度、ガバナーを務めます浅原でございます。本日は伊豆中央ロータリークラブを公式訪問させていただく機会を得ましたことに感謝申し上げます。公式訪問するに当たり、可能な限り合同例会ではなく一つずつ訪問させていただきとお願いをしましたが、それは地区内 74 クラブあれば 74 通りの例会の進め方があることを体験したかったということと、各クラブご自慢の美味しい食事を出来るだけ味わいたかったからです。

さて昨年の小林年度に引き続き、私の年度も残念ながらコロナ禍のため PETS、地区研修協議会をリアルで開催できませんでした。特に PETS は各クラブ会長に直接、RI 方針や RI テーマについて説明する良い機会となる筈でしたが、適いませんでしたので本日、時間の許す限り丁寧にお話したいと思います。

今年度、ジェニファーRI 会長のテーマは「イマジンロータリー」です。これはロータリーといえども時代の流れ、変化に無縁ではなく時代に即したロータリーをイマジンして下さいという呼びかけです。ロータリーの本質は変わらないものの、新しいクラブの設立や受け入れ、DEI といった考え方がそれにあたります。

新しいクラブの設立を提唱するのは従来型のクラブでは、入会を希望しても仕事の都合などで、それが敵わない人達を迎えるための工夫です。そして RI は DEI を今年度の最優先事項に位置付けしています。ただ多様性、公平さ、インクルージョンと言っても我々、日本のロータリーには理解しづらいと言いますか、馴染みにくいと言った側面がありますが、それを分かり易く話をすることがガバナーの役割と考え、DEI に附いてお話したいと思います。

DEI の D、ダイバーシティ「多様性」の意味を「あらゆる背景を持つ人や、幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎します」と RI は説明しており、そして「あらゆる」とは民族、人種、肌の色、言語、宗教等を指す訳ですが、この辺りが単一民族、単一言語の日本の社会にとって馴染みにくい部分ではないでしょうか。私はこれをもっと日本のロータリー向けに分かり易く「多様性とは、一つは女性会員を増やすこと、二つ目は異業種、これまで自分達のクラブには居なかったような職業分類の人を会員として迎えましょう」と説明しています。会員候補者を企業経営者や弁護士、医者といった従来からある職業分類ではなく、もっと違う分野に新たな候補者を求めることが、日本のロータリーにとっての多様性と考えます。

「公平さ」に附いては、改めて話すまでもないと思いますので、「インクルージョン」に附いて説明します。RI ではインクルージョンを組織に所属する人、すべてを包み込むに受け入れることと定義しておりますが、分かり易く説明しますと、入会して何年が経過したから、あの会員には今年、〇〇を担当してもらおうといった具合に年数で役割を決めることは、インクルージョンに反します。ロータリーに入会して何年ではなく、その人に適した役割、その人が力を発揮できる役割を担ってもらおうことがインクルージョンです。

限られた時間に全てをお話し出来ませんので、ガバナー月信でも説明しておりますので、そちらも参考にいただければと思っております。

最後に伊豆中央ロータリークラブ様の益々のご発展をご祈念申し上げて、ガバナー公式訪問挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

スマイル

●小野憲君・望月隆一君・石井政一君・長友範充君・原田精治君 浅原ガバナー公式訪問ありがとうございます。本日はよろしくお願ひ致します。(本日のスマイル合計 ¥21000)